

科目名		コミュニケーション実践 I			
担当教員	佐藤 真司		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	<p>対面交流場面における「話す」行為において、相手の状況を正しく理解した上で、自分の意志を目的や場面に応じた適切な表現でわかりやすく示し、効果的に相手に伝えることを学ぶ。</p> <p>コミュニケーション検定初級合格を目指すために、対策授業を行い、合格点に達しない者は補講を行う。対面授業で実施。</p>				
学習目標 (到達目標)	<p>周囲の人と「話す」こと、「聞く」ことによって円滑なコミュニケーションをとることができる。</p> <p>コミュニケーション検定初級合格ができる。</p>				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社サーティファイ コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	コミュニケーションを考える、目的に即して聴く		P2-9		
2	傾聴・質問する		P10-14		
3	目的を意識する、話を組み立てる		P15-22		
4	言葉を選び抜く		P23-29		
5	表現・伝達する		P30		
6	来客対応		P36-39		
7	電話対応		P40-43		
8	アポイントメント・訪問・挨拶		P44-48		
9	情報共有の重要性、チームコミュニケーション		P49-59		
10	接客・営業、クレーム対応		P60-71		
11	会議・取材・ヒアリング、面接		P72-82		
12	模擬問題		P84-99		
13	過去問題①		P100-115		
14	過去問題②		P116-131		
15	過去問題③		P132-148		
16	コミュニケーション検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
<p>成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。</p>			<p>コミュニケーション検定合格のために、毎回授業に出席する。</p>		
実務経験教員の経歴					

科目名		就職実務 I			
担当教員	佐藤 真司		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	毎日の生活を豊かに有意義に過ごすためにも、自分らしい生きがいややりがいを持って働くためにも、働く意義をしっかりと理解した上で就職活動を進めていく。 身だしなみセミナー、求職登録面接、就職研修、インターンシップを通して、翌年(翌々年)の就職活動を意識する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	就職活動の心構えと流れを知ることができる。 自分と職業を理解することができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	これからどう生きていくか、一生でどのくらい稼げるのか、どんな生活を送りたいか、社会はどんな人材を求めているのか		プリント		
2	チャンスを逃がさない、働く理由を考える		プリント		
3	伝わる文章の書き方、相手を納得させる論理力、構成を考える		プリント		
4	自己PRのネタを探す、自己PRの骨格をつくる、説得力のある自己PRをつくる		プリント		
5	BtoBとBtoCの違いを知る、業界について考える、職種について考える		プリント		
6	求職登録面接とは何か、求職票作成の仕方、インターンシップとは何か、インターンシップ申込書作成の仕方		プリント		
7	求職票作成、自己PR作成、面接練習①		個別作業		
8	求職票作成、自己PR作成、面接練習②		個別作業		
9	求職票作成、自己PR作成、面接練習③		個別作業		
10	身だしなみセミナー、求職登録面接		女子メイクセミナー、男子身だしなみセミナーを受講 求職登録面接を受ける		
11	インターンシップ履歴書作成の仕方		プリント		
12	企業研究の仕方、志望動機の書き方		プリント		
13	履歴書作成、志望動機作成①		個別作業		
14	履歴書作成、志望動機作成②		個別作業		
15	インターンシップ日誌の作成の仕方、身だしなみについて		プリント		
16	就職研修		インターンシップに向けての心構えと問題事例、また今後の就職活動に向けての心構えを学ぶ		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			書類作成や面接練習をすることもあるので、毎回授業に出席し、提出物などの遅れがないようにする。面接練習は必ず事前に準備しておくこと。		
実務経験教員の経歴					

科目名	潜水士対策				
担当教員	今井 健介	実務授業の有無	○		
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	6	時間数	96
授業概要、目的、授業の進め方	過去問研究を主眼に置きながら4つの単元(潜水業務/送気、潜降、浮上/高気圧障害/関係法令)に効率的に取り組む。対面授業で実施。				
学習目標(到達目標)	国家試験 潜水士合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	潜水士テキスト(中央労働災害防止協会)				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	潜水業務①	座学			
2	潜水業務②	座学			
3	潜水業務③	座学			
4	送気、潜降、浮上①	座学			
5	送気、潜降、浮上②	座学			
6	送気、潜降、浮上③	座学			
7	高気圧障害①	座学			
8	高気圧障害②	座学			
9	高気圧障害③	座学			
10	関係法令①	座学			
11	関係法令②	座学			
12	関係法令③	座学			
13	過去問題練習、解説	座学			
14	過去問題練習、解説	座学			
15	過去問題練習、解説	座学			
16	過去問題練習、解説	座学			
17	過去問題練習、解説	座学			
18	過去問題練習、解説	座学			
19	過去問題練習、解説	座学			
20	過去問題練習、解説	座学			
21	過去問題練習、解説	座学			
22	過去問題練習、解説	座学			
23	過去問題練習、解説	座学			
24	潜水士試験				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	元水族館職員				

科目名		コンピュータ実習 I			
担当教員	古俣 秀子		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	日本語文章入力のある程度の速さで、正確に行えるようにする Wordの理解を深め、活用できる基本技能を身につける で実施。				対面授業
学習目標 (到達目標)	Word文書処理技能認定試験 3級 取得				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	Word2016 クイックマスター 基本編 Word文書処理技能認定試験 3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	新規フォルダー作成・ファイルコピー Chapter1 Wordの基本		授業の目的の理解 Windows基本操作、基本知識の重要性		
2	Chapter2 文字の入力と編集の基本操作 Chapter3 文書の編集		日本語入力の基本操作の確認 正確な入力の重要性、コピー・移動の状況に応じた方法		
3	Chapter3 文書の編集		Wordにおける段落書式の重要性		
4	Chapter3 文書の編集 Chapter4 文書の印刷		C2～3で学習した内容を該当設問で確認		
5	Chapter5 文書の作成		タブ機能の重要性の理解、タブ設定とタブ挿入の理解 ルーラーの重要性の確認		
6	Chapter6 表を使った文書の作成		表作成・編集の基本の理解、操作に応じたりボンの確認 C4～6で学習した内容を該当設問で確認		
7	Chapter7 図形や画像を使った文書の作成		オブジェクト作成・編集操作の基本の理解		
8	練習問題1		QMで学習した機能を確認しながら設問解答 実用目的の成果物として完成させる		
9	練習問題2～		「作成」ファイルと「編集」ファイルの保存の必要性、名前を付けて保存 と上書き保存の理解の重要性		
10	練習問題		完成確認後、各自で次の練習問題に進む 練習問題2「編集」の確認と疑問点などの確認・回答		
11	練習問題		"		
12	模擬問題		"		
13	模擬問題		"		
14	試験実施プログラム 模擬問題		プログラム操作方法・試験の流れの確認 画面配置に慣れる。解答ファイル採点		
15	試験実施プログラム サンプル問題		前問題振り返り 時間計測して実施 解答ファイル採点		
16	検定				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・ D(59点以下)とする。			パソコンスキルはどの業界へ就職しても必須となります。パソコンの基 本的な操作の仕方、文書作成の方法をしっかりマスターしましょう。授 業中に分からない事や上手く出来なかった事は休み時間を利用して 練習をしましょう。		
実務経験教員の経歴		一般向けパソコン教室において20年以上関わっていた			

科目名		ビジネスマナー			
担当教員	小林 美江	実務授業の有無	×		
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	組織、お客様、取引先などと良好な人間関係を保ちつつ、仕事の成果をあげるためにビジネスマナーを身につける。 また、9月に受験をする社会人常識マナー検定に向けて、過去問題は宿題で行い、合格点に達しない学生は補講を行い、合格できる準備を整える。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	社会人常識マナー検定に合格できる、ビジネスマナーを身につける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	株式会社ウイネット 実践ビジネスマナー 公益社団法人全国経理教育協会 社会人常識マナー検定試験				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	仕事に取り組む心構え	P8-12 教務室入退室・書類の提出の仕方チェック			
2	報告・連絡・相談、会社の組織	P13-16 指示を受けて業務を遂行し報告するロールプレイング			
3	基本動作、言葉の遣い方	P18-30 お辞儀・椅子の座り方チェック			
4	受付の仕方、名刺の渡し方	P32-40 受付ロールプレイング			
5	取り次ぎの仕方、案内の仕方	P41-48 受付→応接室案内ロールプレイング			
6	応接室の案内の仕方、お茶の出し方、環境整備	P49-56 お茶出しロールプレイング			
7	電話の受け方、伝言メモ	P55-69			
8	電話のかけ方	P70-76 インターンシップ確認電話ロールプレイング			
9	慶事業務	プリント			
10	弔辞業務、お見舞い	プリント			
11	社内で使用する備品、郵便の取り扱い	プリント			
12	ビジネス文書とは、社内文書作成の仕方、メールの送り方	プリント iPad(スマホ)でメール作成送信添削			
13	社外文書作成の仕方	プリント PC(iPad)で社外文書作成提出添削			
14	お礼状の作成の仕方	プリント 直筆でお礼状作成提出添削			
15	期末試験				
16	期末試験、解答・解説				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。		積極的にロールプレイングに取り組み、提出物の期限は守ること。 インターンシップ前後に行う電話がけやお礼状作成など、マニュアル通り行えないことを理解し、臨機応変に対応できるように毎日の学校生活でもビジネスマナーを意識すること。			
実務経験教員の経歴					

科目名		水槽管理実習 I			
担当教員	佐藤 真司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	水槽メンテナンスの手順を考え、自主的に水槽管理ができるようになる。 学内外の水槽管理を行う。 実施。				対面授業で
学習目標 (到達目標)	各水槽の問題点を自ら判断し、適切な水槽メンテナンスができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	学内水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
2	「アンドクリエイト」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
3	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
4	「新潟中央自動車学校」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
5	「笹口小学校」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
6	学内水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
7	「アンドクリエイト」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
8	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
9	「新潟中央自動車学校」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
10	「笹口小学校」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
11	学内水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
12	「アンドクリエイト」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
13	「新潟市どうぶつふれあいセンター」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
14	「新潟中央自動車学校」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
15	「笹口小学校」水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
16	学内水槽管理		グループに分かれて指定された水槽のメンテナンスを行う。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		観賞魚販売店で4年間勤務			

科目名	観賞魚各論 I				
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	観賞魚として扱われている淡水性熱帯魚の種類と特徴を覚える。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	一般的に流通している熱帯魚を見て種類を答えることができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	観賞魚についての説明		観賞魚についての講義		
2	カラシンの仲間についての講義①		観賞魚についての講義		
3	カラシンの仲間についての講義②		観賞魚についての講義		
4	コイの仲間についての講義①		観賞魚についての講義		
5	コイの仲間についての講義②		観賞魚についての講義		
6	アナバスの仲間についての講義		観賞魚についての講義		
7	ナマズの仲間についての講義①		観賞魚についての講義		
8	ナマズの仲間についての講義②		観賞魚についての講義		
9	シクリッドの仲間についての講義①		観賞魚についての講義		
10	シクリッドの仲間についての講義②		観賞魚についての講義		
11	古代魚の仲間についての講義①		観賞魚についての講義		
12	古代魚の仲間についての講義②		観賞魚についての講義		
13	その他の仲間についての講義①		観賞魚についての講義		
14	その他の仲間についての講義②		観賞魚についての講義		
15	確認の小テスト		観賞魚についての講義		
16	期末試験		観賞魚についての講義		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	観賞魚販売店で4年間勤務				

科目名		観賞魚飼育実習 I			
担当教員	佐藤 真司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	観賞魚飼育の基礎をネイチャーアクアリウムを通して学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	水槽管理の基本的な技術を身に付けている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	水槽設置、ガーデンマットのカット	個人水槽の器具セッティングを行う			
2	CO2器具設置	個人水槽の器具セッティングを行う			
3	フィルターセット	個人水槽の器具セッティングを行う			
4	構図写真撮影	個人水槽の器具セッティングを行う			
5	照明セット	個人水槽の器具セッティングを行う			
6	ロングホース使い方説明	水槽管理、ネイチャーアクアリウムについての説明			
7	植栽方法説明	水槽管理、ネイチャーアクアリウムについての説明			
8	初期管理説明	水槽管理、ネイチャーアクアリウムについての説明			
9	植栽直後写真撮影	写真で構図を記録する			
10	有茎草のトリミング1回目	ネイチャーアクアリウムの基本管理を行う			
11	植栽2週間後写真撮影	写真で水槽の経過を記録する			
12	下草のトリミング	ネイチャーアクアリウムの基本管理を行う			
13	ウィローモスのトリミング	ネイチャーアクアリウムの基本管理を行う			
14	植栽1ヶ月後写真撮影	ネイチャーアクアリウムの基本管理を行う			
15	有茎草のトリミング2回目	ネイチャーアクアリウムの基本管理を行う			
16	前期期末試験	前期授業内容の総まとめ			
17	写真撮影(完成)	写真で作品を記録する			
18	グループ水槽構図組み①	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
19	グループ水槽構図組み②	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
20	グループ水槽植栽プラン①	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
21	グループ水槽植栽プラン②	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
22	グループ水槽ウィローモス巻き	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
23	グループ水槽植栽	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
24	グループ水槽植栽直後写真撮影	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
25	グループ水槽植栽2週間後写真撮影	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
26	有茎草のトリミング	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
27	下草のトリミング	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
28	グループ水槽植栽1ヶ月後写真撮影	3人一組で90cm水槽でネイチャーアクアリウムの制作、管理を行う。			
29	外部展示水槽入れ替え作業①	学外に展示している水槽を学内のものと入れ替える。			
30	外部展示水槽入れ替え作業②	学外に展示している水槽を学内のものと入れ替える。			
31	外部展示水槽入れ替え作業③	学外に展示している水槽を学内のものと入れ替える。			
32	後期期末試験	後期授業内容の総まとめ			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	観賞魚販売店で4年間勤務				



科目名	マリンアクアリウム理論 I				
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期後半
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	ホームアクアリウムレベルでの海水魚飼育の基礎知識について学ぶ。主に、淡水魚飼育との相違点、海水魚飼育に必要な器具、器具の仕組み、使用上の注意点について紹介する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	ホームアクアリウムの海水魚水槽で使用する材料や器具について、種類、理論、仕組みを説明することができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	海水魚2500図鑑、失敗しない海水魚飼育、はじめてのマリンアクアリウム				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	マリンアクアリウムの概要海水魚の定義 海水について、海水の成分、濃度、比重		座学		
2	人工海水のメリット、デメリット、使い方		座学		
3	ウェットろ過、ドライろ過の概要 好気性ろ過、嫌気性ろ過		座学		
4	ナチュラルシステム		座学		
5	プロテインスキマーの役割と仕組み		座学		
6	ベルリンシステムの仕組み		座学		
7	殺菌器具(UV、ヨウ素、オゾン)		座学		
8	オゾンの効用とコントロール、酸化還元電位(ORP) まとめ、試験		座学		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			飽くまでアクアリウムショップでの利用を前提しており、水族館飼育に根ざした内容ではない。		
実務経験教員の経歴	ペットショップスタッフ(観賞魚・爬虫類エリア)4年間勤務				

科目名	マリンアクアリウム実習 I				
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	ホームアクアリウムレベルの海水魚の飼育の基本的な知識を修得する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	アクアリウムショップで、海水魚を扱うための基本を身に付ける				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	はじめてのマリンアクアリウム				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	必要用具の説明、マリン室の電源説明 オーバーフローパイプの使い方(取り外し～設置)		水槽を使った実習		
2	海水の作り方 メンテナンスの基本(藻類の除去、底床の清掃)		水槽を使った実習		
3	メンテ、ライブロックのメンテナンス(藻類むしり、藻類除去、カーリー除去)、給餌の説明(配合飼料、冷凍餌料)		水槽を使った実習		
4	ライブロックの組み方 スターティングフィッシュのトリートメント、淡水浴の方法		水槽を使った実習		
5	エルバージュ浴説明、水質検査(NO2、pH、比重)、日誌記入 スターティングフィッシュの導入		水槽を使った実習		
6	飼育しやすい魚種の説明(スズメダイ、養殖クマノミ、テンジクダイ、ハゼ)ハゼ、その他魚類のトリートメント、淡水浴、エルバージュ		水槽を使った実習		
7	病気の見分け方概要(白点、リムフォ、ウーディニウム、スレ、ギロダクチルス、ダクチロギルス、トリコディナ、ハダムシ、ピブリオ) ハゼ、その他魚類の導入、淡水浴、エルバージュ浴		水槽を使った実習		
8	まとめ 試験		水槽を使った実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップスタッフ(観賞魚・爬虫類エリア)4年間勤務				

科目名					
ネイチャーアクアリウム実習 I					
担当教員	柴田 康文		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	5	時間数	160
授業概要、目的、授業の進め方	ネイチャーアクアリウムコース1年生のために、ネイチャーアクアリウムの制作から管理までを実習する。器具の準備から、構図作製、植栽、日常の管理までをできるようにする。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	完成させた水景を写真で記録する。年間2作品を制作し、レポートとして記録する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	アクアジャーナル、オリジナル教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	育成期具を揃え、確認		水槽を使った実習		
2	水槽の設置		水槽を使った実習		
3	レイアウトプランの制作		水槽を使った実習		
4	臨床システム		水槽を使った実習		
5	レイアウト素材の配置		水槽を使った実習		
6	構図の写真撮影		水槽を使った実習		
7	水草の植栽		水槽を使った実習		
8	植栽直後の写真撮影		水槽を使った実習		
9	CO2添加量の調整		水槽を使った実習		
10	水質測定		水槽を使った実習		
11	水槽管理		水槽を使った実習		
12	水槽管理		水槽を使った実習		
13	水槽管理		水槽を使った実習		
14	水槽管理		水槽を使った実習		
15	トリミング		水槽を使った実習		
16	水槽管理		水槽を使った実習		
17	水槽管理		水槽を使った実習		
18	水槽管理		水槽を使った実習		
19	コンディションに応じた液体栄養素の添加内容の確認		水槽を使った実習		
20	魚の選定		水槽を使った実習		
21	魚の投入・水合わせ		水槽を使った実習		
22	夜間のエアレーション		水槽を使った実習		
23	水槽管理		水槽を使った実習		
24	水槽管理		水槽を使った実習		
25	水槽管理		水槽を使った実習		
26	水槽管理		水槽を使った実習		
27	水槽管理		水槽を使った実習		
28	撮影を想定したトリミング		水槽を使った実習		
29	水槽管理		水槽を使った実習		
30	水槽管理		水槽を使った実習		
31	水景写真撮影		水槽を使った実習		
32	水景写真撮影		水槽を使った実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				

科目名	ネイチャーアクアリウムギャラリー実習 I				
担当教員	本間 裕介		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	株式会社アクアデザインアmanoのネイチャーアクアリウムギャラリーで、水槽管理の技術を学ぶ 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの作業を通して、プロの管理技術を身に付ける。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
2	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
3	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
4	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
5	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
6	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
7	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
8	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
9	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
10	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
11	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
12	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
13	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
14	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
15	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
16	ネイチャーアクアリウムギャラリーでの実習		水槽を使った実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				

科目名		水界生態学			
担当教員	佐藤正浩、仁木亨		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	水圏(河川、湖沼)の生態系について学ぶ。 業で実施。				対面授
学習目標 (到達目標)	水圏の生態系について、基礎的な知識を身に付けている。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	水界生態学に関する概論		座学		
2	湖沼とは		座学		
3	湖沼の種類とその分布		座学		
4	湖盆形態		座学		
5	湖沼の物理的性質 概論		座学		
6	湖沼の物理的性質 媒体の密度		座学		
7	湖沼の物理的性質 湖沼の温度条件		座学		
8	湖沼の物理的性質 湖沼水の成層と循環		座学		
9	湖沼の物理的性質 湖沼の光条件		座学		
10	湖沼の物理的性質 水中照度		座学		
11	湖沼の物理的性質 透明度		座学		
12	湖沼の物理的性質 水素イオン濃度		座学		
13	湖沼の物理的性質 溶存酸素量		座学		
14	湖沼の物理的性質 溶存無機炭酸化合物		座学		
15	まとめ		座学		
16	期末試験		座学		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		アクアリウムメーカー勤務			

水草概論 I					
科目名					
担当教員	佐藤正浩、仁木亨		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	水草の分類、生態、取り扱いについて総合的に学ぶ。				対面授業で実施。
学習目標(到達目標)	水草の分類、生態、取り扱いについて総合的に身に付けている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナル教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	水草に関する概論		座学		
2	水草の定義		座学		
3	水草の生育形 抽水植物		座学		
4	水草の生育形 浮葉植物		座学		
5	水草の生育形 沈水植物		座学		
6	水草の生育形 浮遊植物		座学		
7	水草の生育形 両生植物		座学		
8	水草の種類と生育環境 流水域		座学		
9	水草の種類と生育環境 止水域		座学		
10	可塑性、とくに異形葉について		座学		
11	栄養繁殖と萌芽		座学		
12	有性生殖		座学		
13	日本における水草の現状		座学		
14	絶滅が危惧される日本の水草		座学		
15	検索表を使った水草の同定方法の説明 1		座学		
16	期末試験		座学		
1	検索表を使った水草の同定方法の説明 2		座学		
2	検索表を使った水草の同定方法の説明 3		座学		
3	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 1		座学		
4	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 2		座学		
5	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 3		座学		
6	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 4		座学		
7	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 5		座学		
8	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 6		座学		
9	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 7		座学		
10	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 8		座学		
11	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 9		座学		
12	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 10		座学		
13	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 11		座学		
14	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 12		座学		
15	検索表を使った水草の同定作業 課題レポート提出 13		座学		
16	期末試験		座学		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				

科目名	造形美術				
担当教員	本間 裕介		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	美しいネイチャーアクアリウムを制作するために必要な、構図作製について学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	流木や石を使い、バランスの取れた構図を作成することができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	アクアジャーナル、世界水草レイアウトコンテスト作品集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	レイアウトにおける構図の重要性		レイアウト素材を使った実習		
2	基本3構図		レイアウト素材を使った実習		
3	流木と石組との構図の違い		レイアウト素材を使った実習		
4	流木の選び方		レイアウト素材を使った実習		
5	流木の組み方		レイアウト素材を使った実習		
6	石の選び方		レイアウト素材を使った実習		
7	配石の仕方		レイアウト素材を使った実習		
8	流木構図の実践		レイアウト素材を使った実習		
9	石組の実践		レイアウト素材を使った実習		
10	化粧砂の使い方		レイアウト素材を使った実習		
11	化粧砂レイアウトの実践		レイアウト素材を使った実習		
12	水槽写真の撮り方		レイアウト素材を使った実習		
13	写真によるレイアウトの確認		レイアウト素材を使った実習		
14	写真によるレイアウトの確認		レイアウト素材を使った実習		
15	まとめ		レイアウト素材を使った実習		
16	期末試験		レイアウト素材を使った実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				

科目名	観賞魚飼育概論				
担当教員	小川 龍司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	熱帯魚、金魚、淡水魚、海水魚、錦鯉などの観賞魚及び関連用品に関する販売及び管理に携わる専門家になるために必要な内容をテキストに沿って授業を行う。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	観賞魚飼育・管理士の資格認定に向けた知識が習得できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	観賞魚飼育・管理士ハンドブック I				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	飼育水の管理		座学		
2	飼育水の水質検査		座学		
3	水槽の種類と取り扱い方		座学		
4	飼育器具と用品の取り扱い方		座学		
5	濾過器(フィルター)の種類と役割		座学		
6	飼育水の温度管理と保温器具		座学		
7	期末試験				
8	フィードバック				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				



科目名	魚病学				
担当教員	小川 龍司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	1	時間数	16
授業概要、目的、授業の進め方	観賞魚における魚病の原因、症状、予防・治療に関する基礎知識を学ぶ。魚病の具体的な症例を理解し、観賞魚用医薬品の取り扱い方や使用の際の注意点を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	観賞魚における魚病の予防、治療を行うことができる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	観賞魚飼育・管理士ハンドブック I				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	魚病の原因と早期発見		座学		
2	ストレスのシグナル		座学		
3	寄生虫による病気		座学		
4	細菌による病気		座学		
5	カビ・ウイルスによる病気		座学		
6	観賞魚用医薬品の正しい使用方法		座学		
7	期末試験				
8	フィードバック				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				

科目名	ショップスキル				
担当教員	小川 龍司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	アクアリウムショップでの業務に必要な技術や心構えを身につける。挨拶や、生体商品の管理、店舗の管理技術を学ぶ。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	接客の挨拶ができる。アクアリウムショップで必要な、生体管理技術を身に付けている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	観賞魚飼育管理士ハンドブックⅡ				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	アクアリウムショップの形態		座学		
2	挨拶、接客態度		座学		
3	水草のストック水槽の設置		座学		
4	有茎草の管理		座学		
5	ロゼット型水草の管理		座学		
6	活着性水草の管理		座学		
7	生体のパッキング		座学		
8	CO2の配管		座学		
9	ADA製品の点検方法		座学		
10	魚のストック水槽の設置		座学		
11	魚の導入、水合わせ		座学		
12	ディスプレイ水槽のプランニング		座学		
13	ディスプレイ水槽の制作		座学		
14	水草ストック水槽の整理		座学		
15	接客ロールプレイ		座学		
16	期末試験週		座学		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				

科目名		ネイチャーアクアリウム理論			
担当教員	小川 龍司		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	48
授業概要、目的、授業の進め方	ネイチャーアクアリウムに対する理解を深め、制作から維持管理についての知識を習得する。 対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	ネイチャーアクアリウム制作に必要な知識を身に付けている。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	オリジナルプリント				
回数	授業項目、内容	学習方法・準備学習・備考			
1	ネイチャーアクアリウムとは	座学			
2	水槽内の生態系	座学			
3	レイアウトの構想	座学			
4	底床の役割	座学			
5	底床システムのつくり方	座学			
6	底床の維持	座学			
7	レイアウトの制作	座学			
8	基本三構図	座学			
9	流木と石の注意点	座学			
10	水草の配植	座学			
11	フィルターの働き	座学			
12	物理、化学、生物ろ過とは	座学			
13	照明の役割	座学			
14	水草に効果的な光とは	座学			
15	照明器具の種類と選択	座学			
16	水槽に適した照度	座学			
17	CO2添加の必要性	座学			
18	水槽に適した照度	座学			
19	CO2添加の必要性	座学			
20	栄養素添加	座学			
21	三大栄養素と微量元素	座学			
22	液肥の使い方	座学			
23	長期維持について	座学			
24	期末試験	座学			
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	アクアリウムメーカー勤務				

科目名	昆虫・爬虫類飼育概論				
担当教員	富取 拓夢		実務授業の有無	○	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数	2	時間数	32
授業概要、目的、授業の進め方	昆虫や爬虫類の生体を理解し、飼育方法や管理において気を付けるべきことを学ぶ。対面授業で実施。				
学習目標 (到達目標)	主な昆虫、爬虫類についての特徴、飼育方法、病気などを理解することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	カラーアトラス エキゾチックアニマル爬虫類・両生類(緑書房)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	昆虫の飼育器具について		座学		
2	昆虫の飼育方法について		座学		
3	各分類		座学		
4	動物種の特徴		座学		
5	昆虫の代表的な病気について		座学		
6	カメについて		座学		
7	トカゲについて		座学		
8	ヘビについて		座学		
9	両生類(カエル)について		座学		
10	両生類(サンショウウオ)について		座学		
11	代表的な種類について		座学		
12	爬虫類の飼育器具について		座学		
13	爬虫類の飼育方法について		座学		
14	爬虫類の代表的な病気について		座学		
15	昆虫についてまとめ		座学		
16	爬虫類についてまとめ		座学		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴	ペットショップスタッフ(観賞魚・爬虫類エリア)4年間勤務				

科目名		大学併修			
担当教員	佐藤 真司		実務授業の有無	×	
対象学科	海洋生物・アクアリウム学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数	4	時間数	64
授業概要、目的、授業の進め方	大学科目の実践				
学習目標 (到達目標)					
テキスト・教材・参考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	大学併修科目の実践				
2	大学併修科目の実践				
3	大学併修科目の実践				
4	大学併修科目の実践				
5	大学併修科目の実践				
6	大学併修科目の実践				
7	大学併修科目の実践				
8	大学併修科目の実践				
9	大学併修科目の実践				
10	大学併修科目の実践				
11	大学併修科目の実践				
12	大学併修科目の実践				
13	大学併修科目の実践				
14	大学併修科目の実践				
15	大学併修科目の実践				
16	大学併修科目の実践				
17	大学併修科目の実践				
18	大学併修科目の実践				
19	大学併修科目の実践				
20	大学併修科目の実践				
21	大学併修科目の実践				
22	大学併修科目の実践				
23	大学併修科目の実践				
24	大学併修科目の実践				
25	大学併修科目の実践				
26	大学併修科目の実践				
27	大学併修科目の実践				
28	大学併修科目の実践				
29	大学併修科目の実践				
30	大学併修科目の実践				
31	大学併修科目の実践				
32	大学併修科目の実践				
評価方法・成績評価基準		履修上の注意			
成績評価基準は、S(95点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴					